

PET/CT検査はがんの早期診断、転移や再発の診断に有用な画像検査です。

がん細胞は正常の細胞よりブドウ糖を多く取り込む性質があります。PET/CT検査はそれを利用した検査です。ブドウ糖に微量の放射性物質をくっつけた薬剤を腕から注射し、がん細胞に取り込ませ、そこから放出される微量な放射線を体外からPET/CT装置で読み取ります。読み取ったデータを画像化することでがん細胞の位置や大きさ、進行の度合いを調べることが可能です。一度で全身の検査ができることもメリットです。

患者さん・受診者さんは薬剤の注射後約1時間専用の待機室で安静にしていいただき、その後PET/CT装置の中で約20分間横になっていただくだけで、比較的苦痛の少ない検査です。

2021年11月より最新のPET/CT装置を導入し診断精度が大幅に向上しました。

健診センターにてPET検診としても検査が受けられますので是非ご活用ください。

放射線技術科 佐藤 竜太